

2022.05.11

福岡県糸島市・可也山(かやさん)の

ギンラン、ツクシタツナミソウ、ナルコユリ、ムサシアブミ



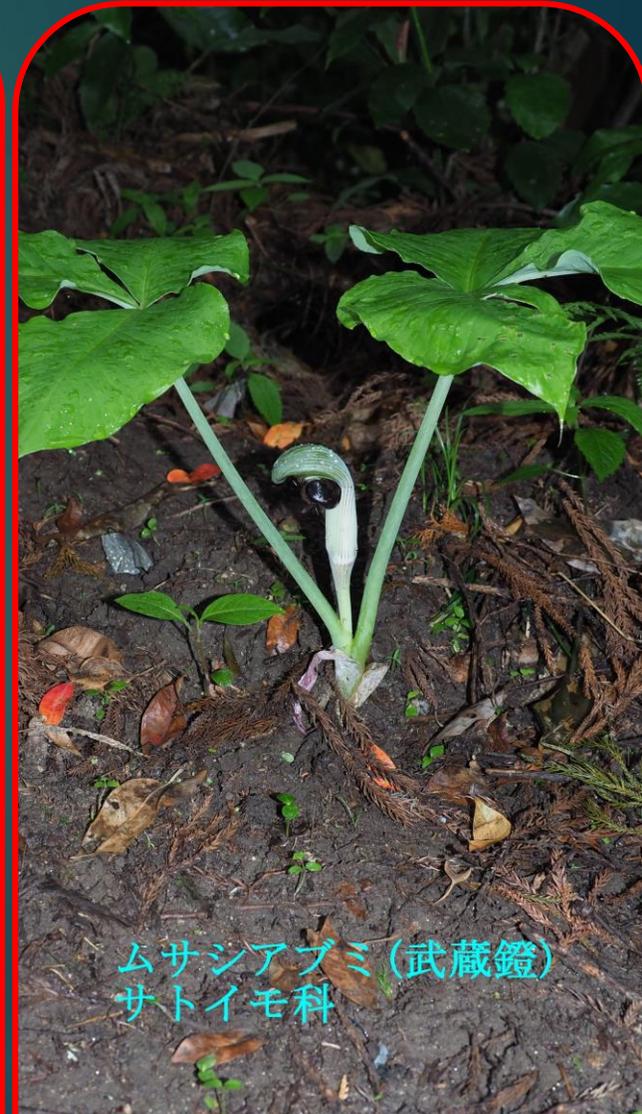
ギンラン
(銀蘭)
ラン科



ツクシタツナミソウ
(筑紫立浪草)
シソ科



ナルコユリ(鳴子百合)
ユリ科



ムサシアブミ(武蔵鏡)
サトイモ科

行程：師吉（もろよし）登山口～石切り場跡～第1展望所～可也山ブランコ～小富士梅林分岐の折り返し



2022/05/11
13:20



2022/05/11 13:20
師吉(もろよし)百姓市



2022/05/11 13:20
師吉(もろよし)登山口駐車場



ユウゲショウ(夕化粧) アカバナ科 帰化植物
別名：アカバナユウゲショウ
原産地：南米から北米南部



アツミゲン (渥美罌粟) ケシ科
地中海沿岸原産の帰化植物



ナガミヒナゲシ (長実雛芥子、長実雛罌粟) ケシ科
地中海沿岸原産の帰化植物



ムラサキカタバミ (紫片喰、紫酢漿草) カタバミ科



マツバギク (松葉菊)
ハマミズナ科



マツバギク(松葉菊)
ハマミズナ科



2022/05/11
13:25



マツバウンラン(松葉海蘭)
ラン科
北アメリカ原産の帰化植物



アメリカフウロ (亜米利加風露)
フウロソウ科
北アメリカ原産の帰化植物



2022/05/11
13:28



2022/05/11
13:28

山頂展望所まで
1.850m



2022/05/11
13:45
登山道



2022/05/11 13:46



ナルコユリ
(鳴子百合)
ユリ科



ツクシタツナミソウ
(筑紫立浪草)
シソ科



ツクシタツナミソウ
(筑紫立浪草)
シソ科



ツクシタツナミソウ
(筑紫立浪草)
シソ科



ムサシアブミ (武蔵鐘)
サトイモ科



ナルコユリ (鳴子百合) ユリ科



ナルコユリ (鳴子百合)
ユリ科

ハナミョウガ(花茗荷)
ミョウガ科

ハナミョウガ(花茗荷)
ミョウガ科



2022/05/11 14:14
石切場跡

可也山と石切り場

可也山は標高三百六十五メートル、東西約四百メートル、南北約二百メートルの楕円状で、東方から見る山容は富士山に似ており、老翁富士或いは小富士などとも呼ばれている。

万葉集巻十五に「草枕 旅を苦しめ 恋ひおれは 可也の山辺に」さゆ飛鳥くも」と詠まれているより、古くから知られた山で、その石は朝鮮半島の伽耶地方に由來するとの説もある。

山麓は大部分が花園神社からなるが、頂上付近には大山藩跡と噴出した玄武岩が見られる。特に山腹に露出する良質の花崗岩は、江戸時代初期を主体として近代に至るまで、城や寺社などの石造物の材料として利用された。

有名なところでは、熊本県日光東照宮、江戸城、葺田山、聖園神社、桜井神社などの石鳥居の建立にこの山の花崗岩が使われている。その中でも、元和四年（一六二八）に黒田長政が整備した、江戸時代五の山から初号とし、海を渡り川を上らせ、嶺々日光の山にたどり着く、海を渡り川を上らせ、嶺々日光まで運搬したという綱杵が更田家譜などの文獻に記されている。

現在のところ、明確にその時期まで遡ることができる物や場所はほとんどないが、山腹の巨石に現在でも多く残る朱六（蝦夷）が狂時の様子を感じさせる。

志摩観光協会

石切場跡

可也山と石切り場

可也山は標高三百六十五メートル、東西約四キロメートル、南北約二キロメートルの独立峰で、東方から望む山容は富士山に似ており、糸島富士或いは小富士などとも呼ばれている。

万葉集卷十五に『草枕 旅を苦しみ 恋ひおれば 可也の山辺に さ雄鹿鳴くも』と詠まれているように古くから知られた山で、その名は朝鮮半島の伽耶^{かや}地方に由来するとの説もある。

山塊は大部分が花崗閃緑岩^{かこうせんりよくがん}からなるが、頂上付近には火山活動で噴出した玄武岩が見られる。特に山腹に露出する良質の花崗岩は、江戸時代初期を主体として近代に至るまで、城や寺社などの石造物の材料として利用された。

有名なところでは、栃木県日光東照宮、江戸城紅葉山、警固神社、桜井神社などの石鳥居の造立にこの山の花崗岩が使われている。その中でも、元和四年（一六一八年）に黒田長政が普請した、江戸時代のものとしては我が国最大の日光東照宮大鳥居の造立の際には、難儀の末、六十トンを超える巨石をこの山から切り出し、海を渡り川を上^{のぼ}らせ、遙々日光まで運搬したという顛末^{てんまつ}が『黒田家譜』などの文献に記されている。

現在のところ、明確にその時期まで遡^{そきゆう}及^{きゆう}できる石切り場跡は確定されていないが、山腹の巨石に現在でも数多く残る矢穴^{くさびあし}（楔痕）が往時の様子を偲^{おも}ばせる。





イチヤクソウ
(一葉草)
ツツジ科





イチヤクソウ(一葉草)
ツツジ科



ギンラン (銀蘭)
ラン科



ムサシアブミ (武蔵鏡) サトイモ科



ギンラン (銀蘭)
ラン科



ギンラン (銀蘭)
ラン科



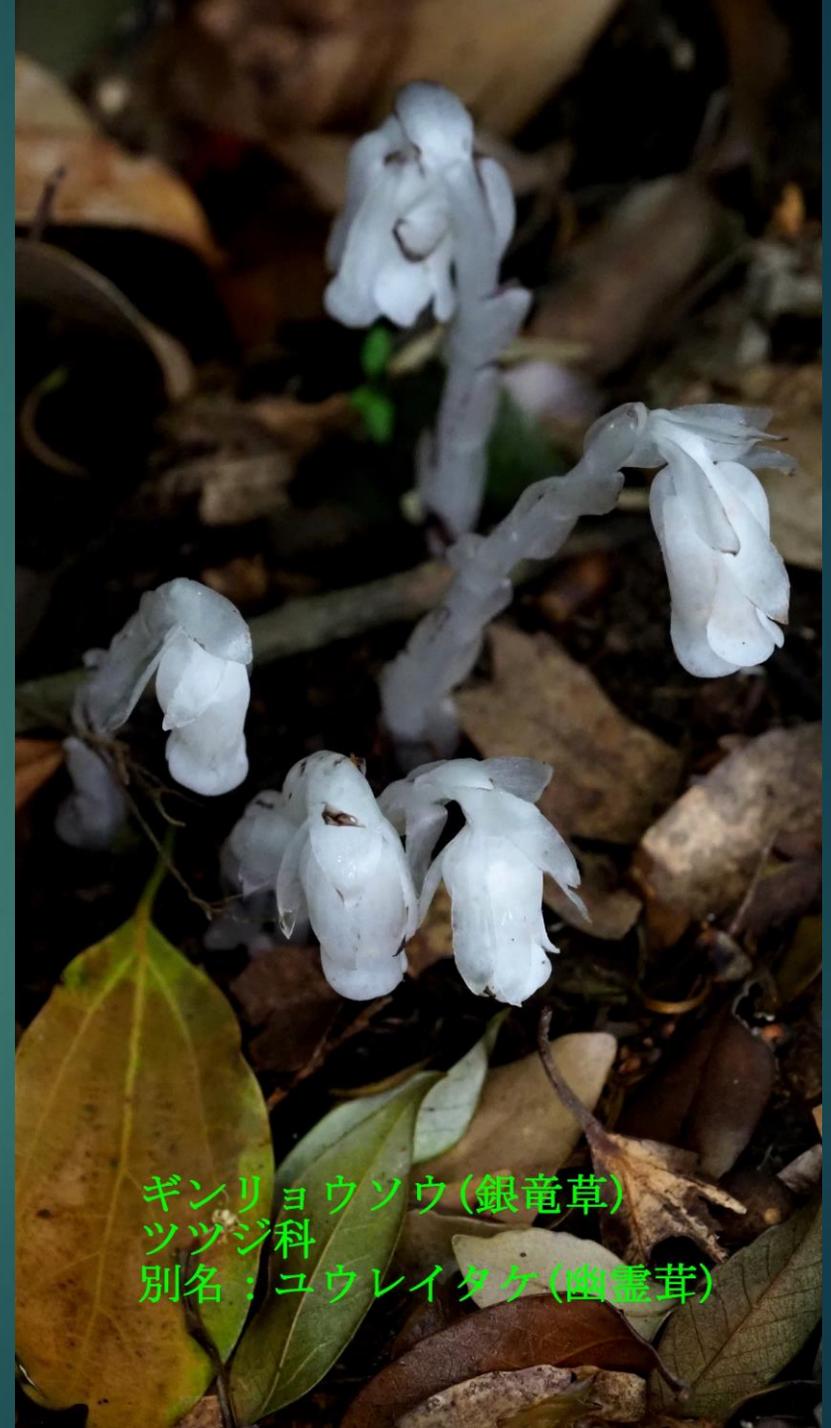
2022/05/11 14:48
可也山ブランチ



2022/05/11 14:53
小富士梅林分岐



ギンリョウソウ(銀竜草)
ツツジ科



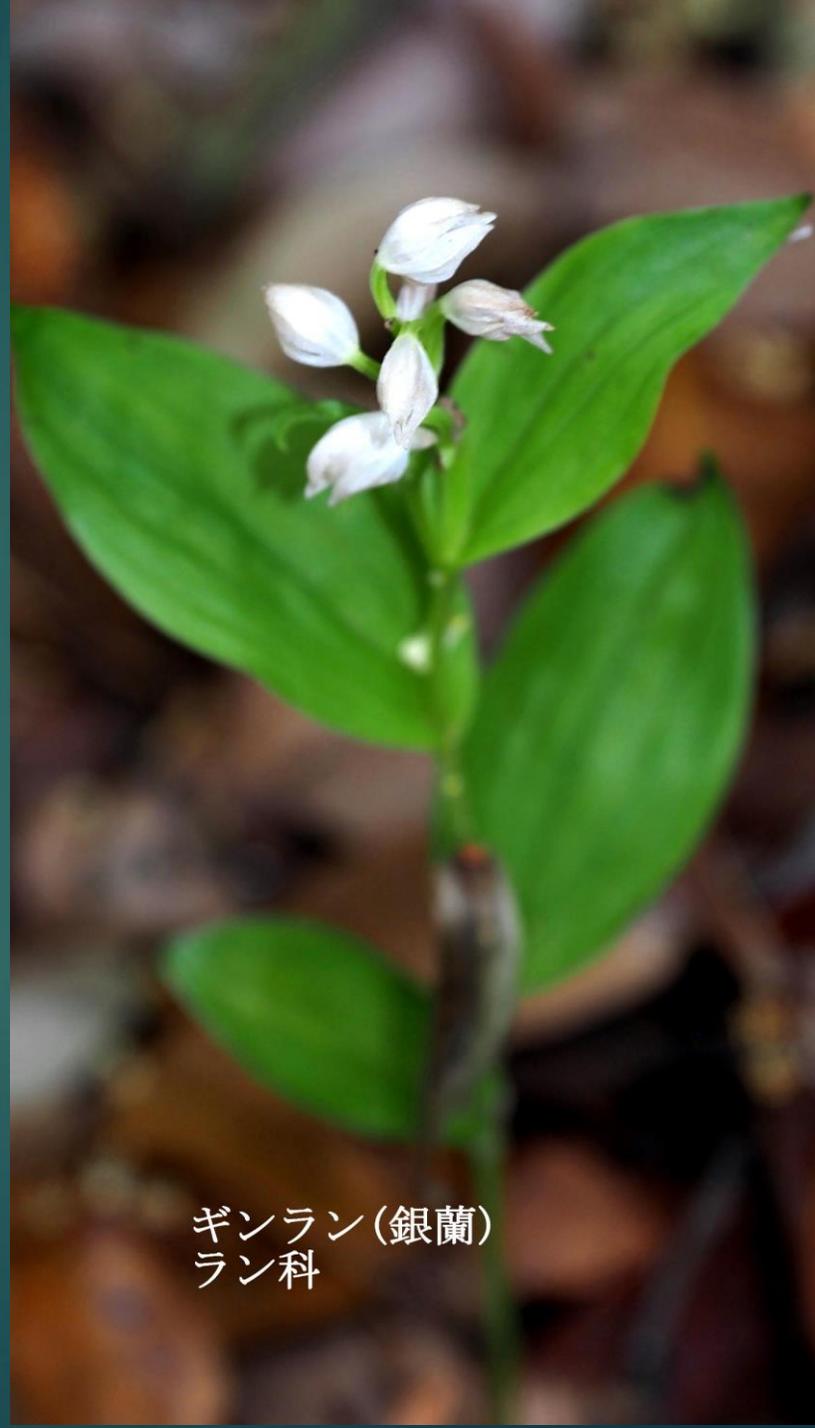
ギンリョウソウ(銀竜草)
ツツジ科
別名：ユウレイタケ(幽霊茸)



ギンリョウソウ(銀竜草)
ツツジ科
別名:ユウレイタケ(幽霊茸)



ギンラン(銀蘭)
ラン科



ギンラン(銀蘭)
ラン科

お知らせ(注意)

可也山登山客へ

可也山の登山については、志摩鳥獣保護区(可也山周辺千三百六十ha)が三十年ぶりに解除になり、狩猟期間中(11月15日～3月15日まで)県内外のハンターがイノシシ等の狩猟をされ非常に危険です。

この期間中(11月15日～3月15日まで)可也山に登山される方は十分注意されるようお願いいたします。

ハンターの方へのお願い

可也山には、山頂までの遊歩道があります。遊歩道付近及び住宅・施設等付近では、狩猟をご遠慮ください。



志摩町

志摩町観光協会



2022/05/11 15:34



シラン (紫蘭)
ラン科

可也山(かやさん) 365m

2022/05/11 15:44
師吉 (もろよし) 登山口に戻る

2時間25分の行動時間

END